シリーズ
子ども・若者ご縁づくり
第21回

第２期 思春期・若者支援コーディネーター養成研修会について

子ども・若者ご縁づくり推進委員会の思春期・若者支援部会では、特に思春期の子ども・若者の生きづらさを理解し、「お互いに不完全な者同士」として関わりを持つことのできる僧侶・寺族を、一人でも多く増やしていきたいと思っております。

このたび、第２期思春期・若者支援コーディネーター養成研修会を開催することとなりましたので、研修会の方向性と内容についてお知らせさせていただきます。

まず、「なぜ思春期の若者と関わりを持つのか?」ということについてです。お寺では小学生までの子ども会は盛んに取り組まれておりますが、中高生の若者への取り組みは少ないのが現状です。しかしながら、子どもと大人の中間期にあたるこの時期は、あらゆる知識をスポンジのように吸収しつつ、「自分は何者か」、「人とどう違うのか」といったことに悩(なや)みながら、自己（アイデンティティ）を確立していく大変重要な時期にあたります。

この時期の子ども・若者と接する時に最も大切なことは、第一に、「彼や彼女たちが何に悩んでいるか」を知ることです。友だちのこと、彼氏や彼女のこと、性のことなどは一般的ですが、これ以外にも家庭環境や性自認（セクシュアリティー）のことなどで、人に打ち明けられない若者も少なくありません。こうした人たちに、僧侶あるいは寺族として、どんなアドバイスや関わりを持つことができるのか、また、浄土真宗のみ教えからどのようなメッセージを伝えることができるのかを、研修を通じて学び、考えていただけることと思います。

第１期の養成研修会は、２０１６（平成28）年度に、第１回から第３回まで、延べ７日間、約20講義で開催されました。それぞれの内容は、性（性教育、性暴力など）、セクシュアリティー、薬物依存、リストカット、児童虐待(ぎゃくたい)、不登

校、自死などのテーマのもと専門の医師や支援組織の代表者などによる講義であり、思春期の若者を知るうえで他に類を見ない研修会でありました。今回の第２期は、延べ５日間となりますが、ほぼ同様の内容となる予定です。

→第２期募集要項46頁掲載

研修会全体の監修は、第１期と同様に、学校性教育の第一人者、泌尿器科医の岩室紳也さんと薬物依存やリストカットなどの援助の第一人者である精神科医の松本俊彦さんにお願いしております。お二人ともに当事者である若者の側に立った援助者として大変評価の高い方です。したがって、本研修会では、「ダメ、ゼッタイ」という標語に象徴されるような、一般的な常識の押しつけや、「こうあるべき」という指導を若者に対して行う、というような方向性は持ちません。「自分も同じようなことで悩んでいた」あるいは「もし自分が同じ境遇であったならば」というまなざしを持ちながら、「お互いに不完全な人間」として、当事者である相手を可能な限り理解しようとする方向性です。

思春期・若者支援コーディネーターには、思春期の子ども・若者の生きづらさを知り、学んだうえで、継続的につきあいながら、必要に応じて専門家へとつなぐことのできる人となっていただきたいと思っております。私たちは、僧侶、寺族であるがゆえに、問題への解答を示さなければならないと思いがちですが、複雑な事情や感情を抱える生きづらさの問題は、決して私たち単独で解決できるものではありません。したがって、期待されるコーディネーター像としては、一つの分野で深い知識を持つ専門家ではなく、思春期の諸問題全般についての広範な知識を持ち、かつ各地の行政やＮＰＯ、同じく宗門内の思春期・若者支援コーディネーターとも協働することのできる人、を考えております。

（子ども・若者ご縁づくり推進委員会
思春期・若者支援部会長　藤間幹夫）

◇受講者の声

思春期・若者支援コーディネーター養成研修会を知ったきっかけは、インターネット（ＳＮＳ）での友人の投稿でした。「本願寺派の新しい研修会の本気度がすごい」と、他宗派の人も含めて話題になっていました。以前から、思春期支援などに興味があったので参加を決めました。

各テーマについて私たちは、マスコミなどを通して理解したり、場合によってはすぐ近くで起こった問題として接したりしています。そのどちらも、ものごとの一側面にしかすぎなかったこと、問題の内側には複雑な事情が絡（から）まり合っていることを、研修を通して知りました。

思い返してみると、私自身も思春期のころには生きづらさを抱えていた当事者として、このような問題を経験してきました。しかし、当時は頼りになる大人がまわりにいるという可能性は、まったく考えていませんでした。この研修を縁として、私もその環境を作る手伝いができればと思っています。

子ども・若者ご縁づくり推進委員会
思春期・若者支援部会
第1期思春期・若者支援コーディネーター
養成研修会修了者
寺澤真琴

「子ども・若者ご縁づくり企画」

第２期 思春期・若者支援コーディネーター養成研修会 募集要項

１．開催目的　「あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、もって自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」取り組みとして、「念仏者の生き方」に学びながら、特に思春期・若者の生きづらさについて理解を深め、必要に応じて専門家へつなぐことのできる思春期・若者支援コーディネーターを養成します。

思春期・若者支援コーディネーターは、若者を支える既存のグループなどと協働しながら、活動に取り組みます。その中で得られた問題意識を宗派内で共有し、活動に生かすことによって、「子ども・若者ご縁づくり」推進の一翼を担ってもらおうとするものです。

２．研修内容　上記の目的のために本研修は、岩室紳也（泌尿器科医）、松本俊彦（精神科医）両氏に監修をいただき、生きづらさを抱える当事者側に立つ研修内容としました。

３．開催期日　当研修会は下記日程すべての受講を原則といたします。

前期　2019年１月17日（木）・18日（金）［１泊２日］

後期　2019年６月18日（火）・19日（水）・20日（木）［２泊３日］

※前期と後期の間に、各地域で既存の思春期支援活動への体験参加や研修会などにご参画いただき、後期にて反省会、情報交換を行います

４．会　　場　聞法会館３階研修室または、浄土真宗本願寺派宗務所２階研修室

５．募集対象　18歳以上の僧侶、寺族（坊守・寺院子弟など）を対象といたします。（性別は問いません）

※受講に際し、ご留意いただくこと

・性（性教育、性暴力、性的虐待、性風俗産業）、セクシュアリティー、薬物、リストカット、児童虐待、不登校、自死などに関わる問題と事例を取り扱いますので、これらの問題及び若者の文化に対して、理解と共感の観点を大切にする人を望みます。

・開催目的に準じたコーディネーターの養成を目的とした研修会ですので、知識習得、ご自分の家庭に活かすなどのみが目的のご参加は推奨できません。

６．募集人員　30名程度

７．研 修 費　15,000円（前期後期を通じて）

・研修費は、申込受付後、推進室より「受付通知」をお送りいたしますので、通知を受け取られましたら金融機関を通し、指定の口座へ2019年１月10日までに振込をお願いいたします。振込にかかる手数料は、各自ご負担をお願いいたします。

・なお、お支払いただいた研修費につきましては、原則として研修会を欠

席されても返金はいたしません。

8．申込方法　所定の「申込書」・「プロフィール」を記入の上、「子ども・若者ご縁づくり推進室」宛てお申込みください。
なお、メールでのお申込みも受付いたします。「申込書」・「プロフィール」書式を宗派ホームページにアップロードいたします。ダウンロードのうえ記入し、メール添付にて推進室宛て送信ください。
応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

9．申込締切　2018年12月27日（木）　子ども・若者ご縁づくり推進室宛
メール申込は12月27日12時まで、郵送は12月27日必着といたします。

10．申 込 先　子ども・若者ご縁づくり推進室
住　所：〒600-8501
京都市下京区堀川通花屋町下ル　浄土真宗本願寺派宗務所
ＴＥＬ：075-371-5181（代表）　ＦＡＸ：075-351-1211
e-mail：goen@hongwanji.or.jp

11．そ の 他　①本研修会にかかる往復交通費、宿泊費については各自にてご負担ください。
②研修費15,000円（１名）の内訳は、下記の通りです。それ以外につきましては各自にてご負担をお願いいたします。また、各地域での思春期支援活動への体験参加・研修会にかかる諸経費につきましても、各自ご負担となりますことご了承ください。
・講義受講にかかる研修費
・食　費：昼食・夕食
・懇親会費
※朝食は含まれておりませんので各自ご準備をお願いいたします。
③研修期間中の宿所につきましては、原則各自にてご手配をお願いいたします。
④宿泊手配を希望されます方は聞法会館 和室４人１部屋（１泊6,000円、朝食なし）をご用意いたしますので、参加申込書の該当項目にご記入ください。（但し、相部屋となりますことご了承ください）
・宿泊費につきましては、各回研修会初日にご持参ください。
・宿泊が不要になりました際は、早急に推進室までご連絡ください。
・推進室を通さず、直接聞法会館を予約することも可能です。その場合は実費を各自にて、聞法会館へお支払いください。
⑤研修会当日は、念珠、布袍・輪袈裟または式章、印鑑、筆記用具、洗面用具、保険証、常備薬、その他必要と思われるものをご持参ください。

以　上

第2期 思春期・若者支援コーディネーター養成研修会
主な講師一覧（前期・後期）

	名　前	職 種　所 属（専門領域）
1	あ　み　ち　え	性暴力被害当事者／支援者
2	今　賀　は　る	現役セックスワーカー
3	岩　室　紳　也	泌尿器科医 ヘルスプロモーション推進センター代表（学校性教育）
4	瓜　生　　崇	真宗大谷派僧侶（カルト対策／脱会支援）
5	金　子　法　子	産婦人科医 針間産婦人科院長（学校性教育／若年妊娠）
6	上　村　茂　仁	産婦人科医 ウィメンズクリニックかみむら院長（DV／デートDV）
7	白　濱　洋　子	佐賀女子短期大学准教授　（元中学校養護教諭）
8	武　田　正　文	臨床心理士／スクールカウンセラー／浄土真宗本願寺派僧侶
9	霍　野　廣　由	NPO法人 京都自死・自殺相談センター副代表／浄土真宗本願寺派僧侶
10	原　　健　一	佐賀県DV総合対策センター所長（DV・女性支援）
11	日　高　庸　晴	宝塚大学教授　（セクシュアリティ／LGBT）
12	古　川　潤　哉	浄土真宗本願寺派僧侶（性教育）
13	堀　　浄　信	児童養護施設 光明童園 園長／浄土真宗本願寺派僧侶
14	松　本　俊　彦	精神科医 国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部長（依存／自死／自傷）
15	宮　崎　豊　久	インターネットポリシースペシャリスト／学校課題解決専門家（ネット／SNS）
16	森　林　原　人	現役AV男優

※講師の都合により、急遽変更になる場合がございます。　（五十音順）